

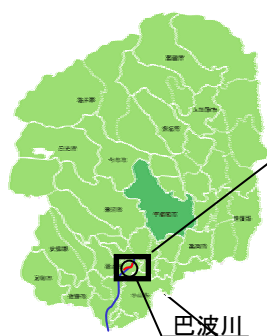
歴史ある町並みとの調和（巴波川 栃木県栃木市）

一級河川巴波川は、江戸時代の初めころから栃木と江戸方面をむすぶ舟運の交通路として大いに利用され、今も当時のなごりを残す河川改修が行われてきました。

現在の巴波川は、10万匹の鯉が泳ぎ、栃木市の観光名所のひとつであり、また、市のシンボル河川でもあります。

栃木市民の河川へのかかわりも深く、年3回の河川清掃や夏に行われる『百八灯流し』等が行われております。

近年、遊歩道として利用していた低水護岸の老朽化が進んだことから平成12年度から平成15年度にかけて国庫補助河川修繕事業を導入して、その修繕を行ってきました。



修繕実施箇所



修繕実施後

河川へのかかわり

●百八灯流し



※この行事は、毎年8月6日に行われており、百八本のローソクに火を灯し巴波川に流すものです。百八のローソクは、百八の煩悩を水に流すといわれており、また、百八本のローソクは安産のお守りとしても信仰があります。



●巴波川一斉清掃

※巴波川一斉清掃は、年間3回(5月,8月,10月)実施されており、25自治会延べ4,000人の一般市民により作業されている。

